



北星学園大学短期大学部の教育理念・ポリシー

建学の精神

キリスト教を基に創設された北星学園に属す大学として、建学の精神および教育の基本理念を以下のように定めています。

本学は、プロテスタンティズムを建学の精神とする北星学園に属す。北星学園大学の基本は知的誠実である。それは、神の前で自己や自国を相対化し、謙虚に学びつづける姿勢である。「神を畏れることは知識の初めである」(旧約聖書：箴言1章7節)。

自他の人格の尊厳を知り、人間を何かの手段と見ないキリスト教的価値観が、本学の営みの根底に潜む。見識を備え責任を自覚し、社会に貢献する独立人を養成することが、本学の目標である。それは、抑圧や偏見から解放された広い学問的視野のもとに、異質なものを重んじ、内外のあらゆる人を隣人と見る開かれた人間である。そういう意味での自由を本学は目指している。

「真理はあなたがたに自由を得させるであろう」(新約聖書：ヨハネによる福音書8章32節)。

本学は、開学以来、地域・社会・世界に開かれた大学を目標としているのである。

しなやかな精神的骨格を持った、個性ある大学として、時流や利害に流されない独立した人格を学生のうちに育てたいという願いが、この文言には強く込められているのです。

短期大学部のディプロマ・ポリシー¹

1. キリスト教による人格教育を通じ、広い教養と、専門の知識・技術を深く修得し、社会において、知的、応用的能力を発揮することができるようになること。
2. 愛と奉仕に生きる自由な人間という、人間の基本的なあり方と姿勢を問い続け、自らの生き方を探求し、実践していくことができるようになること。
3. 知性と豊かな人間性を備え、社会の諸情勢や問題に深い関心を持ち、その発展と問題解決に関わる姿勢や心を持ち続けることができるようになること。

英文学科のポリシー

カリキュラム・ポリシー² (2015～2018年度入学生)

1. 全員が「英語と日本語で高い教養知識」を吸収し、「英語による自己表現力」を高めるよう科目を展開する。
2. 1年次に基本的な英語運用能力、「聴く・話す・読む・書く」能力を最大限に伸ばす科目を設置する。
3. 2年次には Sociology (社会学), History (歴史), Anthropology (人類学), Geography (地理), Life Science (ライフサイエンス)等の「英語による講義科目」を展開する。
4. 「世界共通語」としての英語の様々な種類に触れながらコミュニケーション能力を高めることができるように、インターナショナル・チューター・プログラムを導入し、「人間と人間の触れあい」を大切にした学習環境を提供する。
5. それぞれの学生のニーズに合った学習を進めるよう、「スタディ・スキル」の科目を設置し、アカデミック・アドバイザーによる定期的な個別指導を実践する。

カリキュラム・ポリシー (2019年度入学生)

1. 全員が「英語と日本語で高い教養知識」を吸収し、「英語による自己表現力」を高めるよう科目を展開する。
2. 1年次に基本的な英語運用能力、「聴く・話す・読む・書く」能力を最大限に伸ばす科目を設置する。
3. 2年次には Anthropology (人類学), Geography (地理), Life Science (ライフサイエンス), Ainu and Maori Studies (アイヌとマオリ研究), Intercultural Communication (異文化コミュニケーション), International Business (国際ビジネス), Introduction to Sports Theory (スポーツ概論)等の「英語による講義科目」

1. ディプロマ・ポリシー
学位授与方針のこと。

2. カリキュラム・ポリシー
教育課程編成方針のこと。

を展開する。

4. 「世界共通語」としての英語の様々な種類に触れながらコミュニケーション能力を高めることができるように、インターナショナル・チューター・プログラムを導入し、「人間と人間の触れあい」を大切に学習環境を提供する。
5. それぞれの学生のニーズに合った学習を進めるよう、「スタディ・スキル」の科目を設置し、アカデミック・アドバイザーによる定期的な個別指導を実践する。

1. ディプロマ・ポリシー 学位授与方針のこと。

ディプロマ・ポリシー¹

1. 実践に重点を置いた「生きた英語」を身につけ、豊かな国際感覚を有している。
2. 世界に通じるコミュニケーション手段としての英語の基本的な能力である、「聴く・話す・読む・書く」を磨き、さらに「知る・使う」能力を身につけている。
3. 英語を通じ、様々な国の人々と心をひらいて交流し、国際的視野と判断力を養い、社会に奉仕・貢献することができる。
4. 社会人としての教養と実践的知識を身につけている。

生活創造学科のポリシー

2. カリキュラム・ポリシー 教育課程編成方針のこと。

カリキュラム・ポリシー²

1. 一般教育科目、専門科目に多様な分野の科目を開設し、現代の生活に関わる基礎的な事柄や問題を知り、生活を総合的、複合的、科学的にとらえることができるようにする。
2. 学生が興味や関心を持っている分野の専門知識や技術の学習を軸として、生活の問題を掘り下げていくことができるように、履修モデルを提示する。
3. 時代のニーズに合わせた履修モデルとして、生活心理、生活文化、生活福祉、経済・経営、情報システム、住居・インテリアデザイン、クリエイティブデザインの7つがある。学生は、履修モデルに共通する理解力、思考力、感受性、表現力をそれぞれの分野の学習を通して修得する。
4. 履修モデルの各分野の専門的知識や技術を修得すると共に、相互に関連する科目を自由に学ぶことが可能で、多角的なもの見方を養うことができるようにする。
5. 少人数制の講義や演習、実習を展開し、学生一人ひとりにきめ細かい支援を行う。
6. さまざまな問題を自ら解決する能力、そのプロセスにおいて他者と協調できる豊かな人間性と表現力を獲得することを目的とした科目を置く。
7. 社会人として求められる知識、自己のキャリア探求に必要な知識を教授する科目を置く。

ディプロマ・ポリシー¹

1. 人の生活を総合的・複合的・科学的にとらえる知識・技術を有し、生活に内在する問題を発見して適切に表現する能力、そして新しい生活方法を発想、実践する能力を持ち、主体的・能動的に生活の知的創造ができる。
2. 時代のニーズを敏感に察知する感受性と、社会人として求められる知識、他者と協調できる豊かな人間性と表現力を獲得する。